

築田寺だより

Ryoudenji Letter



夏号

2023.08

築田寺大変革の時

齋藤筍堂謹也 ― 築田寺住職

四月八日、花まつりの日、様々な行持を行いました。「参禅体験」「花まつり」「釈尊誕生仏展」「住職の駄菓子屋さん」「音楽会」「花・香・コーヒー提供」等、十時の降誕会読経から始め午後四時過ぎまで楽しく精進食堂「ときとそら」誕生を祝うと共に、釈尊の生誕を祝ったところです。仏教行事を行いながら元気な姿を祖先に見てもらい「感謝すること」「信頼すること」「期待すること」を中心に芯の通った集まり、にぎわいをしたいと考へての出発です。連休もあり



本堂と改修した庫裡の精進食堂「ときとそら」・宿坊「泰全」

休む時間が取りやすくなった現代ですが、家族が完全に「核家族化」し、小さな単位になりがちです。また単身家族も多くなったと言われ、「寂しさ」を感じることも多い現代です。どう「生きるか」が問われています。とりあえず、お寺においでください。何か築田寺の自然あふれる谷戸の風を感じ、千百年前の初開創から真言・浄土・曹洞と宗派を変えながら宗教施設がこの地に立ち続けている歴史の重さを思っていたかどうかでも、様々な思いが起きてくると思います。

先日は、栃木の築田（やなだ）家の方が参禅に来られました。足利時代に分かれた築田です。そんなことが起こっている寺です。できれば壇家だけではなく、有志の方もお彼岸（春・秋中日）、お盆（八月十五日）の日にはおいでくださってお経と一緒に読みましょう。一歩進めて、坐禅に来られるのもいいですね。（毎週日曜日朝八時から。参加費三百円です。）子育て中の方は、ご近所であれば、しぜんの国保育園（〇歳）、学童クラブ（学法こども園）、町田自然

幼稚園、正和幼稚園、小規模保育所、つながり（五園）等、乳幼児保育に力を入れていきますのでご利用ください。一時保育や外国人対象の保育園もあります。その他、町田に広がり日本語学校を設置したり、海外とも交流があります。

法事、葬儀、お墓とついお寺は「死後」を連想しがちですか？本来は生・老・病・死の四苦とすべて関係していました。施薬院、文化の拠点としての役割を担ってきました。現在、仏教系の宗教法人は七七〇〇カ寺あるそうですが、家意識の低下などにより、寺離れが進んでいます。元の如く人生全般にわたって関わりをもつ寺院でありたいと願っています。ぜひ、一歩足を進めて住職、副住職、寺族や寺内関係者と仲良くしてください。「日々是好日」は禅語ですが、そのためにはどう好日（よき日）と感ぜられるか。探しながら日々を充実して過ごしていきましょう。主人公は「私（自分）」です。生命を大切にしながら人格を高めふれあう「ヒト・モノ・コト」と丁寧に関わり合ってください。

〔行事〕

お盆

7月13日(木)～15日(土)
8月13日(日)～15日(火)

◆旧檀家の方(上山崎町中心)

8月14日 例年通りお伺いします。

◆新盆・檀信徒盆供養

8月15日10時より 築田寺本堂にて
一緒に先祖供養致します。

(お布施・新盆供養料 参阡円程度)



過去のYATOの縁日の様子(影絵と音楽)

八月十五日午前十時より、新盆の方、供養の志のある方相寄り、読経致します。参加料は一霊参阡円をめどにお考えください。大施餓鬼会は九月二十三日(秋分の日・土)十三時参集にて築田寺で行います。お参りください。花も香もない墓は寂しげです。塔婆のお申込み・出欠は、**九月三日頃**までに、はがきの返送をお願いいたします。

彼岸大施餓鬼会

9月23日(秋分の日・土) 13時～

◆施餓鬼法要・塔婆供養(内陣にて)

◆焼香が終わった方から
順次塔婆をお渡しします。

※塔婆の引取りはゆつくり時間に合わせて
おいでください。

◆施食はありません。

※無縁墓地には当山で施食をいたします。

◆お花はこもれば堂前で販売します。

◆瓊花のお線香の販売します。

塔婆 一 ハガキにて事前申込み(一本五阡円)
お布施 一 随意

不参加 一 御布施として金壹萬を銀行

振込にてご送付いただける
と幸いです。

振込先 一 三井住友銀行 町田支店(847)

(普通) 6605858

宗教法人 築田寺

YATOの縁日

9月23日(秋分の日・土)

◆音楽公演

◆影絵イベント(川村亘平齋氏)

◆出店(飲み物や軽食など)

◎築田寺境内と駐車場にて

罪火もゆる 心の夏の あつさかな
(抱石・久松真一)

コロナがおさまり、人の動きが活発になり始めた令和五年の夏。今まで目をつぶってやりすごしてきたものを皆さんは何か取り戻しつつありますか。心のあせりの汗をぬぐって健やかな自分を取り戻しましょう。まず改めて過去への感謝をいたしましょう。ご先祖さまや遠ざかっていた人との交流の復活、年齢に関係なくちよっと考えてみてください。また現在への信頼、ゆらいでいた自分を取り戻しましょう。人にあいさつ、人に信頼から。そして未来への希望も開けてくるように、さまざま夢想してみましよう。高山寺の明恵上人のように夢の記をつづってみましようか。子孫に明るい未来がくるように。どうぞ寺においてください。さまざまな形で心と心が結ばれるよう努めています。法要、食堂、喫茶、香り、花、音楽、旅行…



幼稚園で紙芝居をする住職

「お知らせ」

築田寺の開門日和

毎月第三土曜日は築田寺の開門日和（四月八日から始まった築田寺の新篇章ですが、毎月第三土曜日は門を大きく開き、様々な方々（思いやりのある方限定）に向けて出店やイベント、禅体験などを行います。「りょうでんじのかいもんびより」と呼んでください。



境内ご案内 / 出店
(パー・タワリシチ)
/音楽パフォーマンス
/まとい(調香体験)

築田寺の山の手入れ会

昨年からは始まったYATOの手入れ会。これは築田寺の山に入り、下草を刈ったり、パイオニアプランツや竹を間引いて土中環境を改善する活動です。鎌を持ちながら中腰で作業をしているとジムに通うように体幹が鍛えられます。無心に下草を刈ると気持ちも落ち着き身体もスツキリします。一緒に里山の手入れをしながら気持ちの良い汗をかきませんか？終わった後は精進料理の賄いをご用意しております。



どなたでも参加できます！

コンゼン・コーヒー COZEN COFFEE と 花綵

ご存知の方も多いと思いますが、築田寺の敷地内にコーヒー焙煎所のCOZEN COFFEE（コンゼン・コーヒー）とお花屋さんの花綵（はなづな）がオープンしております。自家焙煎のコーヒーはブラックもラテも極上の旨みで喉を潤してくれます。また、お花屋さんは築田寺の里山野草を盛り込み、ナチュラルな風合いで献花やブーケを販売しております。枯れた後はコンポストに置き、数ヶ月後には土に還るというコンセプトのもとで運営しております。法事のお供え花も施主様のご要望に合わせてながら製作いたします。



花綵の店主ちかさん

COZEN
COFFEE
の店主
小井土さん

〔偶感〕

ある日の日記

タヌキがやって来た。しかも真つ昼間。ヨタヨタのタヌキである。

我々が近くにいっても去りもしない。蓮鉢の水を飲み、お菓子などには目もくれない。必死に仲間を探そうに石畳の道をクンクンと嗅ぎまわっている。そして時々立ち止まり銅像のように動かない。「死んでる」という声が来訪者から出て、みんな心配して近寄るが、またのろのろと歩き出す。そしてまた立ち止まる。ヨロヨロ、ヨタヨタと進む。でも何か訴えているようで離れない。スマホで「タヌキのエサは？」と調べると「雑食ではあるが、ミミズや昆虫が好き」と答えがでる。妻がミミズを探しに走る。この四月十六日時点ではなかなか見つからない。一時間かけてようやく五匹をみつけ、あげるとペロリと食べてくれた。でも本堂前から動かない。カラスにやられないようにどうしようか。目があまり見えないようだ。日中だからな。イスを置いて屋根をかける。さあ、どうなるか。明日が迎えられるのか。ドキドキの夜七時である。私は足を弱くし動けない。妻のすぐ探しに走るすごさを痛感。タヌキが変わって御礼を言おう。

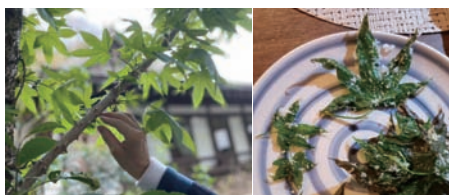
七時過ぎに行ったら、そのヨタヨタタヌキの周りから小さな物体が二つ飛散る。もしかしたら、このタヌキの子どもかと妻の報告。そういえば、朝、玄関を開けると普通のタヌキ。目と目が合ってしまった。とたんに逃げ出したから、朝早く食べ物を探していたのか。今頃になって、あのタヌキは父親。皮膚病のタヌキと相談し、夜行性なのに本堂前の石畳にじつとしていたのか。かろうじてミミズにありつけたので、真つ昼間にも関わらず、人がたくさん出入りしているのにも関わらず、そこにいたんだなあとながついていく。夜八時頃にいくと、タヌキ一家はいなくなっている。お寺だから助けてくれるかもという思いで、

真つ昼間の十時間近く本堂の参道に姿を現し続けた「必死さ」を思う。五匹のミミズは少なかつたかなあと心配しつつ、この数日を過ごしている。(四月二十日・日記)

ハリギリを食べてみました！

樹齢一〇〇〇年の都天然記念物が倒れて早二十年。現在、庫裡を改築して机やイス、内装材に使われている。食堂のオーブンは四月八日と決めて出発したが、何かメインとなる食材はないかとふと思いついたのが、境内の隅々にあるハリギリの子孫の若木。調べてみるとその芽は「タラの芽」と同じ。天ぷら等の食材となるとある。今年に残念ながら時期を逃してしまった。葉も食べてみたが、やはり「芽」がおいしそう。野菜屋さんに相談すると、市場に出てくるのは四月下旬の年一回あるかどうかの話。早速注文してもらう。四月二十日過ぎに連絡が入り、やっと手に入ったという。そうだが、これこそ築田寺のメイン食材。食堂「ときとそら」で供する。これは秋田県横手市の山奥からきたものだが、おいしい。でも明年には「築田寺の天狗のハリギリ」の子孫の若芽が食べられます。どうぞご期待ください。

法事などの後、食堂「ときとそら」に食事や喫茶においでください。お寺らしく会食店の仕出しとは異なり、おいしく安く出来ます。営業日は毎週金土日の十一時半〜十五時です。夕方の予約があれば、少量の般若湯も出します。(但し、運転される方はダメです) これからの葬儀や法事のやり方などがどんどん変わっていく感じがします。どう答えるべきか模索しています。



築田寺のハリギリとハリギリ若木の天ぷら